笑いの笑解(紹介)

WS-22-042R4.06.22

作成:芝崎

43. サラリーマン時代の思い出篇:白馬岳(しろうまだけ)の山登り

入社 2 年目の 7 月に同期の仲間(6 人)と**白馬岳(標高 2,932 m)挑戦。**上りは砂利道/沢から雪渓(4K)、お花畑と天気よく、ちょっときつかったが、とても気持ちよく山登りできた。時間的に暗くなり、頂上の約 100m手前でキャンプ。それからが**暗転！！**朝 5 時頃、なんか気になり、頭をさわると、濡れていた。少しずつ雨が降っていたのに気が付く。斜面にテントを張り斜面の上側に頭をおいて寝ていた為、斜面に沿って☂が流れ落ちて、髪の毛が濡れた。すぐ飛び起きて、すぐ下山の支度をした。ただ、登山経験者がいなく、皆同レベル。登ってきた道を戻るか、頂上を経由して尾根づたいを歩いて下山するか、皆で協議、早く下山できそうな、尾根づたい歩く方を選択。無事下山でき、その日ホテルに宿泊し、**朝刊を見て驚愕**。我々より、1H早く尾根づたいに下山した 2 人組の1人が雷に(まさに**白馬**の世界から**豹/狼**の世界に)当たって亡くなった記事であり、頭がホワイトに。我々も同様なリスクがあり、**登ってきた道を戻るべき**だった。「**九死**《九分》**に一生**《一分》**を得た**:我々六人は**六死**(六分)に**一生**(一分)を得たが、本当に「**三分**」は運がよかったかもと。**安**全な**転**回できず！！反省&教訓が残る山登りあった。

笑いのポイント(笑点)

しろ: **白(しろ)**いひたすら昇り道(約4K)の雪渓を乗り越えて

う: (う)れしいお花畑の出迎え

ま: 満(ま)足感のある一日であり、**白馬**がどこかで現れる期待も。

だけ:(だけ)ど、翌日は強烈な☂**と**⛈**(雷)のアタック、一夜にして急変**:「**山の怖さ**」を知った瞬間であった。

白馬の頭部　　**約4K の雪の道《意外と辛い》**

名前の由来は春に現れる雪形「**代(しろ)**掻(かき)馬」　この「**代(しろ)馬(うま)**」が転じて「白馬」になった。

白馬岳を頭部と見立てると、青空を走る白馬の姿が見えてくる。

・**東山魁夷**の作品(白馬)に魅せられたことで白馬岳に登るかっかけになる。

今回の唯一の教訓:雨天になった場合は尾根づたいを歩かない事　　以上